

成果指標				
成果指標	成果を指標化するのは困難である。			
指標設定の考え方	請負工事件数を実績とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	34件	54件	0	0
実 績	30件	51件	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	パトロール及び市民からの連絡により、道路補修が必要な箇所については、早期対応を行う。また、災害の予防措置として、法面・盛土・擁壁等調査業務を行い、発見された異常箇所については、優先順位を設け補修工事の計画を立て実施して行く。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	約1000路線の市道パトロールを実施することは出来ない。地域区長からの問い合わせ、要望等に速やかに行動を移し、現地確認にて危険度、優先順位を決定した上で、現年予算分、次年度以降予算に分類して対応をすべきである。その中で国費対象として実施できるか否かを判断して経費節減にも努めること。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	<ul style="list-style-type: none">・大事な事業だと思うのだが、事業のイメージが湧かない。・区長から毎年要望が挙がっており、緊急性のあるものを行っているのが実情のようである。特に意見はない。・パトロールをできるだけ増やし、危険箇所を発見するという成果指標を立ててはどうか。・補修工事の計画をどう立てて、それを1年間でどれだけ達成したか見るのがベストである。計画的にやるもの突発的にやるものと分けて整理すると良いと思う。・維持修繕事業なので不可欠だと思う。・市民協力による市道メンテナンスサービスの制度があるのであれば、もう少し積極的にアナウンスした方が良い。
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	